

2016年12月25日(日) 「星を見上げた者たち」

本日のおもちかえり

1) マタイ2章1節-12節を読みましょう。占星術とはどんなものだと想像しますか。あなたは満点の星空を眺めたことがありますか。その時にどんな思いが心にわいてきましたか。

2) ヨブ記には『あなたはプレアデスの鎖を結ぶことができるか。オリオンの綱を解くことができるか』(ヨブ38章31節)という言葉があり、そこにはオリオン座について触れられています。私達は今、ヨブが見上げたオリオン座と全く同じものを見ているということについてあなたはどう思いますか。

3) なぜ私達は壮大な被造物を見る時に神に思いを寄せるのでしょうか。

4) ダニエル9章25節を読みましょう。このところから博士達は何を知りましたか。無数の星を見上げて「神を感じる」ことと、ダニエル書を読んで「神について知る」ことの違いは何ですか。

5) 博士達は「神を感じる」、「神について知る」からどのようにして「神を知る」に至りましたか。あなたもこのようなプロセスを通して神を知ることに至っていますか。「神を知る」ということはどういうことでしょうか。

6) 遠藤周作さんは「沈黙」の中で『私とその愛を知るためには、今日までのすべてが必要だったのだ』という言葉を書き残しています。このことにあなたは同意しますか。もし、私達がこのことに同意するのなら、私達の過去の経験に、どんな意味が与えられますか。